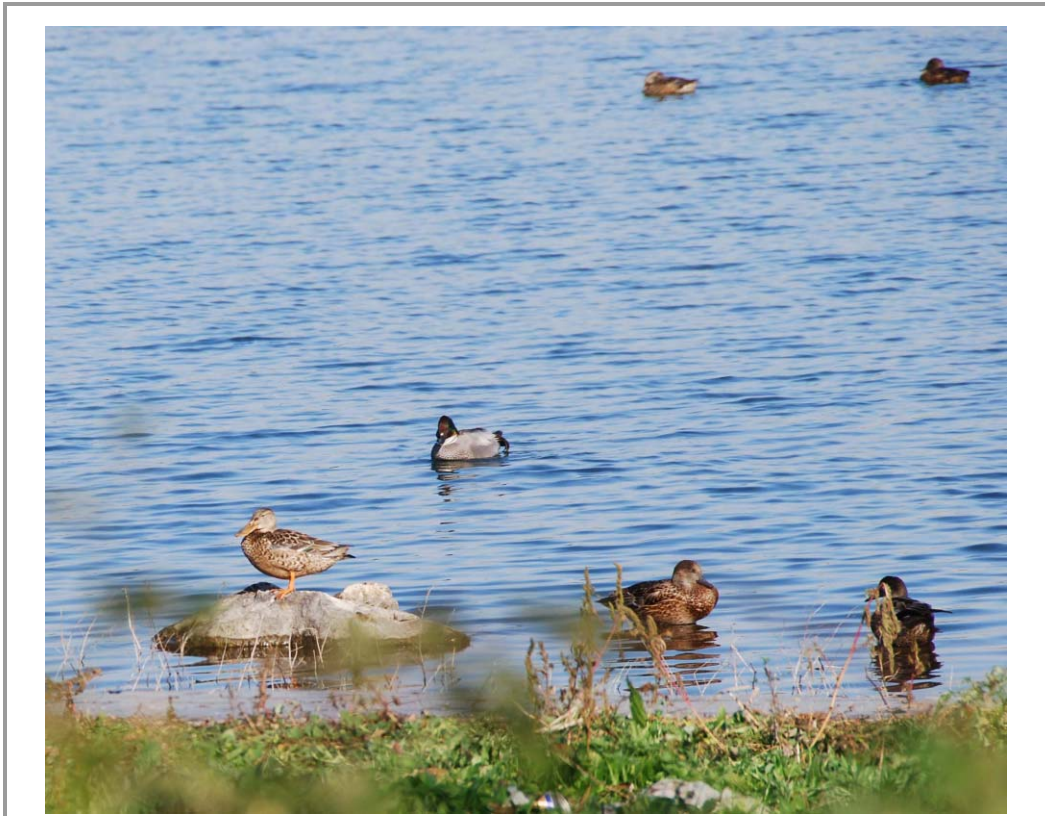


平成 22 年 12 月 20 日



森づくり集団「^{しほり}栞」事務局通信 Vol.27 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】【お知らせ/募集】
【編集後記】



彩湖のハシビロガモとヨシガモ

2010.12.18 撮影

【今月のお知らせ】

平成22年 忘年会の報告

12月18日(土) 大宮 鳥良し

一年の総まとめと反省会を兼ねて、忘年会が彩湖「野鳥観察会」の後に総勢9名で「鳥良し」において行われました。

今年は行事も多く、また多岐にわたる講師の方々のご指導もあり充実した実りある活動が出来たと思います。

植生調査も順調に進み新たな発見が楽しみです、森林保全活動においては雑木林の整備を「サークル埼玉」のメンバーと交流を兼ねて作業をすることが出来ました。

反省会の開始時間を早めに設定したためゆっくり歓談出来盛りあがりました。

来年はY氏よりの提案で早々にお仕事がまとまりそうです。

事務局 緑川

【今月の活動報告】

12月5日(日)10:00より

三芳フィールド作業

参加者 / 小林、緑川、渡部、豊島、北村(光)、北沢、田中、吉田(ひ)、吉田(あ)
(敬称略)

活動担当者 / 武田



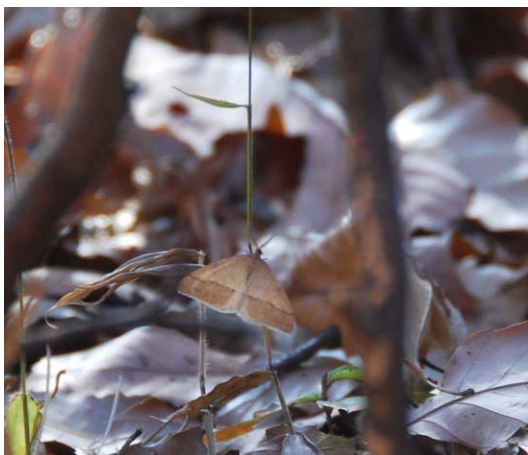
天気は良く、暖かく風も吹かない作業にはもってこいの日でした。作業は主に車道際の枯損木や曲がった木の伐採を行いました。また、歩く時つまずいて危険な切り株を切ったり、下刈り、林地の整理をしました。

作業後、見渡すと森に光が入り、とても明るい林になっていました。

お昼には冬の楽しみの焼きイモが焼けていました。おいしかった!!



活動担当者 武田



フィールドをひらひら舞っていたのはクロスジフユエダシャクの雄でした。雌は羽が退化していて飛べません。フェロモンを出して雄を呼びます。今度は雌を見つけてみましょう。

林住舎主催・栞共催
「彩湖野鳥観察会」

12月18日(土) 9:00より15:00まで

参加者 / 栞会員7名、一般参加2名の計9人
インタープリター / 吉田(ひ)



前日の天気予報では晴天、風強しであったが、野鳥観察に災いの風はなく絶好のバードウォッチング日和。
9時スタート、午前中は彩湖周辺の水辺、ピオトープを経巡り、昼食後は秋が瀬公園に移り、林間に野鳥の姿、鳴き声を求めた。



同定した野鳥一覧〔作成：吉田さん〕は、次の通り。

今回の観察会で確認できた鳥類
主に確認できる時期

留鳥25種	(一年中みることができる種)
冬鳥(15種)	(主に冬季にみることができる種)
合計40種	

カイツブリ	カンムリカイツブリ	ハジロカイツブリ		
カワウ	オオバン			
アオサギ				
マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ	ハシビロガモ
キンクロハジロ				
チョウゲンボウ	オオタカ			
ユリカモメ	セグロカモメ			
スズメ	ムクドリ	エナガ	カワセミ	ヒヨドリ
メジロ	ハシボソガラス	ハシブトガラス	キジバト	カワラヒワ
ハクセキレイ	モズ	ウグイス	シジュウガラ	ヤマガラ
ホオジロ				
ジョウビタキ	ツグミ	アオジ	ベニマシコ	アカハラ
ルリビタキ				
ガビチョウ	カワラバト(トハト)			

※ガビチョウは、外来種です。

40種もの野鳥に出会い、全員大満足。6時間、距離10km?にも及ぶイベントだったが、彩湖、秋が瀬公園が始めての人も多く、海の無い埼玉県最大のウォーターフロントの一日に感激も一入。

観察会後に二人加わった栞忘年会も大いに盛り上がりました。

林住舎 豊島



ヨシガモ



カワセミ

【次回の活動予定】

山の神祭り

1月9日(日)10:00より

第2フィールド

恒例の山の神祭りを行います。今年1年の無事を祈願いたしましょう。

焼き芋、豚汁を用意します、是非ご参加下さい。

参加希望者は準備の都合がありますので1月5日までに、メンバーメールにてお知らせください。

事務局 緑川

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】

インフルエンザの季節真ただ中、今年は新型も猛威をふるっています。毎年ワクチンを打ってもらうのですが、なぜか年に一度この時期に風邪を引いてしまいます。

インフルエンザは空気が乾燥するとかかりやすくなるので、室内の湿度は50～60%を保つ必要があるそうです。特に北風が吹くと一度に喉を痛めつらい思いをします。マスクは絶対にはずせません。

インフルエンザは38以上の発熱、関節痛、など全身症状が強く肺炎、熱性けいれん等を併発し重症になることもあるそうです。

何とか今年はこれらの症状から逃れられる様に注意を払い新しい年を迎えたいものです。

緑川

植物の芽

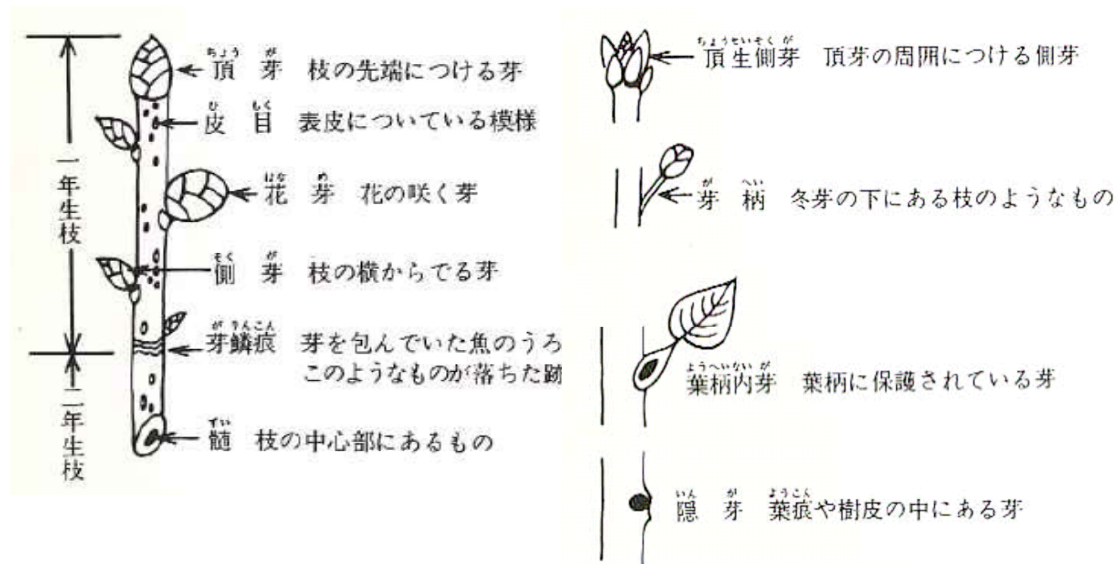
冬芽 とうが

越冬芽ともいう。

冬に一時的に成長を止めた状態で冬を越す芽のこと。

(冬芽のいろいろ)

- ・ 鱗芽・・・芽鱗に覆われた休眠芽のこと。
- ・ 裸芽・・・芽鱗をもたない芽のこと。



あ

ありがとうの気持ち・・・

今年最後の通信が大変遅れてしまい、申し訳ありませんでした。

今年1年お付き合いいただき、ありがとうございました。

また来年も変わりなくご覧いただければ幸いです。

また、お気軽に皆さんの活動報告などご寄稿ください。

事務局 影

森づくり集団「^{しほり}菜」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子